

大西さん追悼文

私は大西さんの突然の訃報を sg-1 で知ったのですが、あの元気だった大西さんがあまりに早く現世から旅立たれたことに大きな驚きを覚えたことを記憶しております。

研究活動や研究指導のみならず折り返しの人生もまだまだこれからという時期であっただけに悔やんでも悔やみきれません。

心より哀悼の意を申し上げます。

大西さんは私が2016年から2022年の間、京大基礎物理学研究所に研究員として所属していた際に同僚であった方でした。

当時同室の院生であった神谷くんや向かい側の部屋にいた柏さんと、時に物事を斜めから眺め時に互いに毒を食らわせあうといった独特な和気を作り上げて活動されており、それもまた皆が大西さんへ寄せる厚い信頼があるからこそできる業なのだろうと感じておりました。

私は専門が素粒子物理ですので直接議論する機会などはありませんでしたが、大西さんの居室の隣には当時杉本さんの居室があつて、私は杉本さんの部屋で度々議論をすることがあつたのですが、私の声はかなり響くらしく、杉本さんのお部屋から響いてくる声を聞かされて気を散らされたことがあつたのではないかと思ひ返し忸怩たる思いです。そのような折にも、大西さんの方からは一度も「気が散るから声のボリュームを下げてください」といったクレームをいただくことなく自由に議論を続けさせていただいたことは、個性の強い原子核グループをまとめあげていた大西さんの暖かなお心が私にも遣わされていたのであつたなあと今更ながらに痛み入る次第です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2024年3月15日

横山 修一 (立命館大学)